

## 市町村のがん検診チェックリスト調査について

---

### 【チェックリスト調査＝技術・体制指標】

がん検診に関与する機関（市町村、検診機関、県）が、最低限整備すべき技術・体制について「事業評価のためのチェックリスト」に基づき点検し、その結果を実施率として数値化した指標。

青森県がん・生活習慣病対策課

平成30年12月5日

## 市町村がん検診チェックリスト実施率が80%以上の市町村(H29年度)

目標値	部位	チェックリスト実施率が80%以上の市町村(割合)			
		集団		個別	
		H28年度	H29年度	H28年度	H29年度
「事業評価のための市町村チェックリスト」の項目を8割以上実施しているとした市町村の割合を100%とする。	胃がん	25.0% (10/40市町村)	47.5% (19/40市町村)	9.1% (2/22市町村)	15.0% (3/20市町村)
	大腸がん	25.0% (10/40市町村)	47.5% (19/40市町村)	7.4% (2/27市町村)	14.8% (4/27市町村)
	肺がん	25.0% (10/40市町村)	50.0% (20/40市町村)	11.8% (2/17市町村)	20.0% (3/15市町村)
	乳がん	27.5% (11/40市町村)	52.5% (21/40市町村)	6.7% (2/30市町村)	19.4% (6/31市町村)
	子宮頸がん	30.0% (12/40市町村)	47.5% (19/40市町村)	5.7% (2/35市町村)	13.5% (5/37市町村)

※実施率が80%以上の市町村割合＝実施率が80%以上の市町村数/検診実施市町村数

## 全国平均より実施率が低い項目 (H29)

項目	H29年度における全国との比較					
	集団			個別		
	部位	H29	全国	部位	H29	全国
個人別の受診(記録)台帳またはデータベースを作成しましたか	胃	85.0%	93.5%	子宮頸	82.9%	92.6%
過去5年間の受診歴を記録していますか	乳	87.5%	92.1%	乳	70.0%	89.1%
個人毎の精密検査方法及び、精密検査(治療)結果を、市区町村、検診機関(医療機関)、精密検査機関が共有しましたか	全国平均以上			肺	40.0%	59.6%
過去5年間の精密検査方法及び、精密検査(治療)結果を記録していますか	胃	72.5%	82.8%	子宮頸	60.0%	77.1%
がん検診結果や精密検査結果の最終報告(平成27年度地域保健・健康増進事業報告)を行いましたか	全国平均以上			乳	96.7%	98.7%
がん検診の結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先(検診機関(医療機関)、医師会など)に報告を求めましたか	胃	97.5%	99.6%	肺	80.0%	90.2%
がん検診の結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか	肺	87.5%	93.6%	乳	76.7%	87.1%
精密検査結果について、地域保健・健康増進事業報告の全項目を計上できるよう、委託先(検診機関(医療機関)、精密検査機関、医師会など)に報告を求めましたか	乳	90.0%	93.7%	乳	73.3%	85.2%
精密検査結果について、委託先からの報告内容が地域保健・健康増進事業報告を網羅できていない場合、改善を求めましたか	胃	87.5%	90.7%	大腸	63.0%	80.3%
委託先検診機関(医療機関)を、仕様書の内容に基づいて選定しましたか	全国平均以上			乳	40.0%	57.8%
仕様書(もしくは実施要綱)の内容は、「仕様書に明記すべき必要最低限の精度管理項目」を満たしていましたか	全国平均以上			乳	26.7%	38.4%
検診終了後に、委託先検診機関(医療機関)で仕様書(もしくは実施要綱)の内容が遵守されたことを確認しましたか	子宮頸	35.0%	37.0%	大腸	7.4%	16.8%
検診機関(医療機関)に精度管理評価を個別にフィードバックしましたか	子宮頸	7.7%	28.3%	子宮頸	0.0%	14.0%
「検診機関用チェックリスト」の遵守状況をフィードバックしましたか	子宮頸	7.7%	24.6%	子宮頸	0.0%	10.8%
検診機関(医療機関)毎のプロセス指標値を集計してフィードバックしましたか	子宮頸	2.5%	20.8%	子宮頸	0.0%	10.2%
上記の結果をふまえ、課題のある検診機関(医療機関)に改善策をフィードバックしましたか	子宮頸	5.0%	19.1%	子宮頸	0.0%	8.9%

※全国平均との差が大きい部位を抽出

## 全国平均より実施率が低い項目(H29)

項目	H29年度の全国との比較					
	集団			個別		
	部位	H29	全国	部位	H29	全国
チェックリスト中のプロセス指標に関連する項目についても、全国平均を下回ることが確認された。						
受診率を検診受診歴別に集計しましたか	全国平均以上			肺	66.7%	67.8%
陽性反応適中度を検診受診歴別に集計しましたか	胃	60.0%	63.1%	胃	40.0%	48.2%
早期がん割合を集計しましたか	乳	72.5%	79.3%	乳	50.0%	66.7%
(胃、大腸がん)粘膜炎がん、(乳がん)非浸潤がんを集計しましたか	大腸	62.5%	74.7%	大腸	45.8%	62.2%

## 全国平均以上であるが、引き続き取組みが必要な項目(H29)

項目	H29年度の全国との比較					
	集団			個別		
	部位	H29	全国	部位	H29	全国
受診勧奨を行った住民のうち未受診者全員に対し、再度の受診勧奨を個人毎(手紙・電話・訪問等)に行いましたか	子宮頸	15.0%	9.5%	子宮頸	11.4%	9.7%
受診勧奨時に、「検診機関用チェックリスト 1.受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に個別配布しましたか	子宮頸	72.5%	56.4%	肺	33.3%	31.4%
精密検査未受診と精密検査結果未把握を定義に従って区別し、精密検査未受診者を特定しましたか	子宮頸	87.5%	85.3%	大腸	81.5%	77.7%
精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を行いましたか	肺	92.3%	87.4%	大腸	77.8%	74.1%

### ○全市町村で実施すべき項目

項目	H29年度の全国との比較					
	集団			個別		
	部位	H29	全国	部位	H29	全国
対象者全員の氏名を記載した名簿を、住民台帳などに基づいて作成しましたか	乳	97.5%	93.7%	子宮頸	97.1%	93.8%
対象者全員に、個別に受診勧奨を行いましたか	大腸	65.0%	51.3%	肺	53.3%	43.6%

※全国平均との差が小さい部位を抽出

# 市町村がん検診チェックリスト(H29年度)まとめ

区分	項目
全国より実施率が低い項目	市町村・検診機関・精密検査機関で精密検査方法及び検査結果を共有すること
	個別検診機関におけるがん検診結果や精密検査結果の最終報告を行うこと
	検診機関・精密検査機関から地域保健・健康増進事業報告に必要な項目を網羅した報告を受け、報告が不十分な場合は改善を求めること
	個人別の受診台帳の作成、過去5年分の受診歴・精密検査等の記録をすること
	仕様書の内容は、明記すべき必要最低限の精度管理項目を満たしているか確認し、その仕様書の内容に基づいて委託先検診機関を選定すること
	検診終了後、委託先検診機関で仕様書の内容を遵守されたことを確認すること
	検診機関に、精度管理評価、「検診機関用チェックリスト」の遵守状況、検診機関ごとのプロセス指標をフィードバックし、課題のある検診機関に対しては、改善策をフィードバックすること
	がん発見率、陽性反応適中度、早期がん割合等を集計し、把握すること
全国平均以上であるが、引き続き取り組みが必要な項目	未受診者に対して個別に受診勧奨すること
	受診勧奨時に、必須事項が明記された資料を対象者全員に配布すること。
	精検未受診・未把握を正しく区別し、精検未受診者へ精検受診勧奨を実施すること
全市町村で実施するべき項目	住民基本台帳に基づいた対象者名簿を作成し、対象者数を把握すること。
	対象者全員に対して、個別に受診勧奨すること。

・「台帳整備」「仕様書」及び「精度管理指標」等、特に改善が必要として、**重点的に指導**することとしたい。

・受診率及び検診精度向上ために重要であるため、市町村に対し**継続的に指導**することとしたい。